

問1 日本の歴史区分における「中世」の政治的な特徴と、その期間の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2014年 愛媛公立入試 類似）

1. 天皇や貴族による律令国家体制が確立された、奈良時代から平安時代まで
2. 武士が政治の主導権を握り、幕府が統治を行った、鎌倉時代から室町時代まで
3. 織田信長や豊臣秀吉、徳川氏による全国統一が行われた、安土桃山時代から江戸時代まで
4. 明治維新によって天皇中心の政治が再建され、欧米の制度が導入された明治時代以降

問2 13世紀後半、文永の役などの蒙古襲来（元寇）において、御家人は幕府の命令に従い命がけで戦いましたが、この出来事をきっかけに「御恩と奉公」の仕組みが揺らぎ、幕府への不満が高まりました。その背景として最も適切な説明はどれですか。（2020年 岡山公立入試 類似）

1. 外国からの侵略を防ぐ防衛戦であったため、恩賞として御家人に与えるための新たな土地が不足していたから。
2. 蒙古との貿易が途絶えたことで、幕府が御家人に支払う給料としての貨幣が底を突いたから。
3. 将軍が北条氏に代わって独裁を強めたため、御家人の所領をすべて没収してしまっただから。
4. 戦いを通じて御家人の力が強まりすぎたため、将軍が「御恩」を与える制度を廃止したから

問3 13世紀後半、元軍による最初の侵攻である文永の役ののち、鎌倉幕府が再度の襲来に備えて、九州北部の博多湾沿岸に約20kmにわたって築かせた石造りの防壁を何といいますか。（2023年 高知公立入試 類似）

1. 防塁
2. 水城
3. 山城
4. 環濠

問4 分割相続などの影響で生活が苦しくなった御家人を救済するため、1297年に鎌倉幕府が出した「永仁の徳政令」の内容として正しいものを選びなさい。（2017年 香川公立入試 類似）

1. 御家人が借金の担保として質に入れたり、売却したりした所領を、無償で取り戻させる。
2. これ以降の分割相続を一切禁止し、すべての所領を幕府が管理して御家人に給与を支払う。
3. 蒙古襲来の戦功に応じた十分な恩賞を与えるため、西国の公家から土地を取り上げて配分する。
4. 御家人の借金を帳消しにする代わりに、今後一切の貨幣の使用や商業活動を禁止する。

問5 1221年に発生した承久の乱は、武家政権と朝廷の関係における大きな転換点となりました。この乱の戦後処理として幕府が行った内容と、その目的の説明として正しいものを選びなさい。（2020年 沖縄公立入試 類似）

1. 六波羅探題を京都に設置し、朝廷の動きを監視するとともに西国の武士の統制を強化した。
2. 京都所司代を京都に設置し、天皇や公家の行動を制限するための法度を運用した。
3. 引付衆を鎌倉に設置し、御家人たちの間で急増していた領地争いの裁判を迅速に行わせた。
4. 守護・地頭を全国に配置し、軍事・警察権の行使と年貢の徴収を確実に行わせた。

問6 鎌倉幕府が置かれた鎌倉の地は、軍事的な防衛を強く意識した都市構造を持っていました。当時の鎌倉の地形的特徴と、それに関連した防衛の仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 山口公立入試 類似）

1. 広大な盆地の中心に位置し、四方に張り巡らされた水路によって外敵の侵入を防いだ。
2. 三方を山に囲まれ南は海に面した地形で、山を切り開いた狭い通路のみを外部との連絡路とした。
3. 太宰府のように水城と呼ばれる大規模な堤防を築き、海から上陸する敵の攻撃を遮断した。
4. 平坦な土地に巨大な石垣と堀を幾重にも配置し、陸上交通の要所を完全に封鎖した。

問7 鎌倉時代の文化は、武士の台頭を背景に、力強く写実的な作風が特徴です。この時期を代表する彫刻家の一人で、快慶らとともに東大寺南大門に安置された金剛力士像を制作した人物は誰ですか。（2016年 岡山公立入試 類似）

1. 運慶
2. 世阿弥
3. 観阿弥
4. 雪舟

問8 鎌倉幕府が、御家人の義務として「京都の警備」を重視した背景や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 長野県公立入試 類似）

1. 朝廷のある京都の治安を維持し、幕府の警察権を誇示することで、朝廷に対する支配力を強めるため
2. 室町時代に発達した商業や手工業を保護し、京都を通る物資から通行税（関銭）を徴収するため
3. 御家人を定期的に京都へ交代で赴かせることで、経済的な負担を与えて反乱の芽を摘むため
4. 分割相続によって領地が細分化された御家人に対し、京都での新たな領地を与える機会を作るため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 武士が政治の主導権を握り、幕府が統治を行った、鎌倉時代から室町時代まで	鎌倉時代と室町時代を合わせた期間を指します。この時代は、将軍と御家人が土地の支配を媒介に結びつく「御恩と奉公」の関係など、武家社会特有の仕組みが政治の基盤となりました。これは、それ以前の貴族中心の政治から大きな転換点となっています。
問2	答え 1 外国からの侵略を防ぐ防衛戦であったため、恩賞として御家人に与えるための新たな土地が不足していたから。	蒙古襲来は外国の侵攻を退けるための戦争であり、国内での内戦のように勝利して敵の領地を奪うことができませんでした。そのため、多額の軍費を負担して戦った御家人に対し、幕府は十分な恩賞（御恩）を与えることができず、生活が困窮した御家人の間に幕府への強い不信感が広がることとなりました。
問3	答え 1 防塁	文永の役（1274年）で元軍の集団戦法や火器に苦しめられた鎌倉幕府は、再度の襲来を想定して、御家人たちに博多湾沿岸の防衛を強化させました。このときに築かれた石造りの壁は「防塁」または「石築地（いしつじ）」と呼ばれ、1281年の弘安の役において元軍の上陸を阻止する大きな役割を果たしました。選択肢にある「水城」は、7世紀に白村江の戦いで敗戦後、唐・新羅の侵攻に備えて大宰府近郊に築かれた土塁のことであり、時代設定が異なります。
問4	答え 1 御家人が借金の担保として質に入れたり、売却したりした所領を、無償で取り戻させる。	幕府は困窮する御家人を救うため、売却したり質に入れたりした所領を無償で元の持ち主に返させる徳政令を出しました。しかし、これにより金銭の貸し借りができなくなるなど経済的な混乱を招き、かえって御家人の生活はさらに苦しくなり、幕府への不満が高まる原因となりました。
問5	答え 1 六波羅探題を京都に設置し、朝廷の動きを監視するとともに西国の武士の統制を強化した。	承久の乱において、後鳥羽上皇を中心とする朝廷軍を破った鎌倉幕府は、それまで支配力が弱かった西国への影響力を強める必要がありました。そこで、朝廷の政治を監視し、西国の武士を統制・裁判するために「六波羅探題」を京都の六波羅に設置しました。江戸時代に置かれた「京都所司代」や、幕府成立時に設置された「守護・地頭」との時期や役割の違いを区別することが重要です。
問6	答え 2 三方を山に囲まれ南は海に面した地形で、山を切り開いた狭い通路のみを外部との連絡路とした。	鎌倉は、三方の山が城壁の役割を果たし、南の海が堀の役割を果たすという、要塞としての機能を持った都市でした。陸路で外部とつながる場所は、山を切り開いて造られた「切通し」と呼ばれる非常に狭い通路に限定されていました。これにより、敵の軍勢が一斉に攻め込むことを難しくし、少ない兵力でも都市を守りやすくする工夫がなされていました。選択肢にある「広大な盆地」や「水城」は、鎌倉の地形的特徴とは一致しません。
問7	答え 1 運慶	鎌倉時代には、武士のたくましい風を反映した芸術が発展しました。運慶は快慶らとともに、東大寺南大門に現存する巨大な金剛力士像を制作しました。この像は筋肉の躍動感などを捉えた写実的な表現が特徴で、当時の新興勢力であった武士階級の精神に合致していました。選択肢にある世阿弥と観阿弥は室町時代に能楽を大成させた人物であり、雪舟は室町時代に水墨画を確立した人物です。
問8	答え 1 朝廷のある京都の治安を維持し、幕府の警察権を誇示することで、朝廷に対する支配力を強めるため	鎌倉幕府は、将軍が御家人の領地支配を保障する代わりに、軍役を通じて全国的な警察・軍事権を握りました。特に朝廷のある京都の警備（京都大番役）を幕府の指揮下で行うことは、幕府が政治的権威を高め、全国支配を正当化する上で極めて重要な意味を持っていました。分割相続は鎌倉時代に行われていましたが、それが京都警備の目的ではありません。